



音楽のよろこび

2022年5月23日 No.41

発行文責 担当事務局

田中 正恭

今年度2回目は、「ファゴット・fagotto（伊）」です。「バスーン・bassom（英）」ともいいます。実はファゴットの講座は2018年度に首藤元さん、2019年度には、フルートとピアノと一緒に、お話と演奏がありました。その時の様子の一端を田中の責任で記録したものを別紙でつけましたので、参考にお読みいただければと思います。

今回は、ファゴット・中野陽一郎さん、ピアノ・松田みゆきさんに、演奏とお話をさせていただきます。

私がファゴットの音を最初に聴いた記憶は、子供の頃音楽の時間のレコード鑑賞で、プロコフィエフの「ピーターと狼」の中のおじいさんを表現した部分でした。曲の冒頭の弦楽四部の美しく生き生きとしたピーターのテーマとともに、ぐっと低くおさえたようなファゴットのおじいさんが印象に残っています。

皆さまのファゴットのイメージはどんなでしょうか。 さあ、開演・開講です。

♪ 前回 4/25 ヴィオラトリオ ♪

ちょっとだけ振り返り～

本講座監修の金本さんのご挨拶があった第1回ヴィオラ講座。

金本さんの編集によるフンメル曲、小峰さん編曲によるM・マレの「人間の声」等含む密度の濃い演奏が続きました。

そして、しっかり準備された小峰さんのお話。モダン楽器だけでなくバロック楽器も用意されるなど、楽器の歴史、奏法など弦楽器の中でのヴィオラの占める位置、オーケストラの中でのヴィオラの位置等、とても説得力のある分かりやすいお話で、進められました。

一昨年のDVDも良かったのですが、やはり「生！！」というのが、皆様の思いだったのではないのでしょうか。

会場で紹介された、小峰さんのCDを家に帰りすぐ聴きました。これも素晴らしいものでした。よく響くホールでの録音、最高の音質…。**ブラボー！！**です。



小峰 航一 さん

丸山 緑 さん

金本 洋子 さん

ステキ なトリオでした。

素晴らしい演奏ありがとうございました。



～アンケートから～

いつもアンケートにご協力
ありがとうございます。
アンケートは一部抜粋したものと
あります。ご了承ください。



一流の演奏を聴けて大満足です。
話もおもしろく、引きずり込まれました。
ヴィオラが中心で（このこだわりが楽しい）
ヴィオラの小さいのがヴァイオリン、
ヴィオラの大きいのがチェロ。



ヴィオラのことはもちろん何も知らず、
ヴァイオリンやチェロにはさまれた、ま
ん中の楽器ととらえていましたが、弦楽
器の基となる楽器だと教えていただき、
また他人に話したくなりました。
今日のトリオは落ち着く音質なのに、ド
ラマティックで心が躍りました。マレの
バロックビオラは、ルイ王朝の貴族の暮
らしを垣間見るようで、物語を聞いている
ようでした。小峰さん、たくさんお話
いただきありがとうございました。（外
村律子様）



以前もアンケートに書きましたが、この
講座に来てヴィオラの音がとても好きに
なりました。やさしくて包み込むような
柔らかい音を聴いていると、心が穏やか
になります。
小峰さんのおはなしもよくわかり、楽し
かったです。小峰さんのヴィオラ愛がよく
伝わりました。ヴィオラのソロも二重
奏も三重奏もみんな素敵でした。（杉浦
智子様）

講義と演奏の両方で、理解が深まっ
た。小峰氏の講義は専門的な内容をユー
モアたっぷりでわかりやすく、エピソード
もまじえ、理解も深まりました。
出れば、楽器を手にとって試しに」ひ
けたらと思いました。



「音楽教室」もう6年目になるのですね。
毎回楽器や曲のエピソードと素敵な演奏を
ていねいに準備していただき、楽しい時間
を過ごさせていただいています。金本さん
今年度もよろしくお願いします。
オーケストラではなかなか主役にならない
ヴィオラ、優しい音色を堪能させていただ
き、ありがとうございました。
小峰さんのヴィオラ愛あふれるトーク勉強
になりました。「音楽教室」は私のリフ
レッシュタイムです。今年度もよろしくお
願いいたします。



間近で一つの楽器の音色を聴けて、いい
チャンスでありました。ヴィオラの重要性
を初めて知りました。（鶴谷美佐保様）



生演奏を聴かせていただくのは何年振り
かと思い起すのが久しい。
ヴィオラはどんな楽器か、ヴァイオリンと
の違いは…説明を受けてわかりました。
前から5番目に座ったのですが、音量が意
外と大きく響いて生演奏って良いですね。
大ホールでオーケストラは数年前に聴きま
したが、この教室で間近で演奏が聴けるの
は、これから益々楽しみになりました。
CDで今まで、タンゴやルンバや映画音楽
を聴いていましたが、クラシックもいい
な—と思いました。生演奏の迫力を教室で
感じ、これからが楽しみ。感激でした。

初めて聞く曲が多く、充分楽しめるまでには至っていません。ヴィオラの歴史や音楽史を知り、これからのクラシックを聴く上でよい知識を教えてもらいました。小峰氏の解説がとても分かりやすく良かったです。やはりベートーヴェンの曲はいいですね。3名の息もぴったりで感動しました。



第一回の講座、とてもワクワクして参加させていただきました。久しぶりに耳にした生の音。やはり良いですね。特に私にとって大好きだった先生の奏でていたヴィオラということで、幸せな時間が流れていきました。ヴィオラトリオは初めてでしたが、すてきな音にうっとりでした。音楽は本当に良いですね。



詳しい話が聞けて面白かった。普段なかなか聞けないので、やはりヴァイオリンとヴィオラの音色など違いがよくわからない。修行します。



オープニングで「ヴィオラが会話している！」と楽しくなりました。当講座は初受講。クラシック音楽に触れるのもほぼ初！！。もう感激です。これから楽しみにして参加いたします。お隣の席の田中様とおしゃべりできました。ありがたく思いました。（松村昌子様）



ヴィオラがすごく身近になりました。いつもていねいな運営ありがとうございます。（尾村様）

初めての今日、ヴィオラの生、ヴィオラだけ、初めて尽くしでした。楽しく語りかけ話し合いを感じました。お話を伺ってよりそう感じられたとも思います。バロックヴィオラも現ヴィオラも良かったです！どちらも味があったな～。パッサカリア癒されました。



ヴィオラトリオ、Duo、Soloと変化に富んだプログラムを堪能しました。小峰さんのお話が深く広く機知に富んでいて、面白く勉強になりました。ここ以外では出会う機会のない音楽を体験できるのは至上の喜びです。

隣席の方は初受講とのこと、冒頭から感激されています（田中邦彦様）



生演奏はフォークギターぐらいで、クラシック音楽、楽器がこんなに大きい音とはあらためて驚きました。

生演奏とこの会館の木の廊下や、階段の音はよくお似合いですね。幼稚園・小中高、そう高校は、鴨沂高校ですべて木造校舎でした。

満員。さすが京響、春を平和を心に太陽を、響かせてください。

座席はまだ一つおき、間をあけて座るようにしてほしい。鑑賞するのも演奏が見えて後ろでも気にならないという意味でもするべきだと思います。（吉田タイシ様）



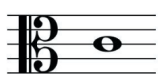
Viola

初めてこの講座を受けて、ヴィオラの演奏を午後の時間に聴くことが出来、とても勉強になりました。ト音記号 ヘ音記号 ヴィオラはハ音記号。譜読みに時間がかかりそうですね。頭の中で混乱しそうです。ヘンデルのパスサカリア、リコーダーで演奏したい曲です。フルストのヴィオラトリオ、面白い曲ですね。拍の取り方が難しそうですが。

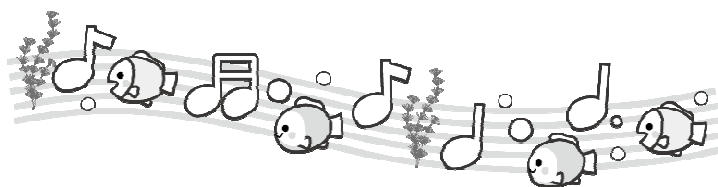
同じ高さです



ト音記号 (ド)



ハ音記号 (ド)



確か友人に誘われて、第一回目の京響の音楽講座に数回だけ参加させて頂き、仕事を辞めたら是非もう一度と思っていたら、コロナで行きにくくなり、今年は、京響の講座と京都植物園講座に参加しました。

金本さんが小峰先生を紹介されるとき、「ヴィオラに対する知識と自意識がものすごい！」と言って笑わせて和ませてくれ、そのあと小峰先生の楽しくて面白い、そして知識の泉のようなお話を聞きながら、演奏を楽しませていただきました。



今年度も、毎回音楽に関する詩や文学的成句等をこの欄で紹介していきます。
今回は以前この欄で紹介したのですが、再度味わってください。

戦争こそまさに音楽の対立物である。その事から我々に伝わってくるのはこの「音楽家訪問」(哲学者アラン (Alain) (1968~1951) の著書 岩波文庫) という書物そのものが、アランの祈りであったという事である。何に対する祈りか、我々の魂の最も傷つきやすい部分への祈りであり、人間というものが本来能力としてそなえている崇高なものへの祈り、要するに自己自身への祈りといえよかろうか！そして音楽というものが、またそういう祈りの場であり、かつ祈りの行為そのものが、時間に即した表現だという事では、おそらくどんな芸術よりも音楽は、我々のこの揺れやまぬ魂に最も近い芸術ということになるであろう。(杉本秀太郎「音楽家訪問」の解説文より…)



次回は6月20日(月) 第3月曜日です

鴨沂会館 A/B とも 13:00開場 13:30~15:30

「ヴァイオリンとピアノ三重奏の世界」

ヴァイオリン	松谷 由美 さん
チェロ	渡邊 正和 さん
ピアノ	小林 千恵 さん

プログラムが変更になりました。ヴァイオリンにチェロ、ピアノを加え3つの楽器によるピアノ三重奏。ピアノ三重奏には名曲がたくさん！さてどんな演奏とお話を聴かせていただけるでしょう。

